

岐阜県知事選挙  
1月26日  
投票日

岐阜県政の「主人公」は、一人ひとりの県民

知事選挙 あなたの1票を

# あなたの暮らしを豊かに

産業カウンセラー 「県民が主人公の岐阜県政をつくる会」 推薦

具体的な政策はこちらから  
<https://www.gifu-shujinko.com/>

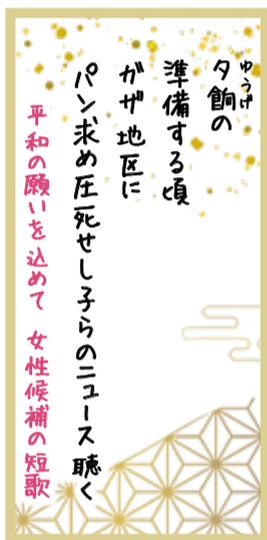


県民が主人公の  
岐阜県政をつくる会

LINE

街頭演説などの予定をお知らせします

## 新人女性候補へ



私は、産業カウンセラーとして仕事をしてきました。人はみな迷いながらも懸命に生きようとしています。そんな方たちに寄り添い、自分らしい生き方が見つけられるようお手伝いしたいと思ってきました。

今、衆議院が与党過半数割れとなり、「国会の景色が変わった」と言われています。そういうお話をすると、皆さんの目にキラリと希望の光が輝きはじめ、次は「県政を変えたい」と元気になってきます。

私は、県民の皆さんのお話に耳を傾け、ひとりひとりが幸せを実感できる県政をめざしたい。大型公共事業中心の県政の無駄をなくし、医療、介護、福祉、子育て、教育、環境、雇用、地場産業、農業、ジェンダー平等に重点を移し、命と暮らしを守るため、力いっぱい頑張ります。

## 女性知事の誕生に期待します

人は生まれてから死ぬまで、他者に依存しなければ生きていくことができません。本来「自立」とは、自己決定に基づいて主体的な生活を営むことで、自分の能力を生かして社会活動に参加し人間らしさを発揮することです。格差や貧困の広がる今日だからこそ、医療や介護、保育や教育を充実して、人間らしく生活できる社会にすることが必要です。

岐阜県民主医療機関連合会 事務局長  
土井正則

民主商工会は商売をして働いている人たちの集まりです。しかし、事業所の廃業や倒産が増えています。売り上げに消費税が課され、中小零細業者は大変です。地域から食料品店がなくなり、高齢者の買い物が困難になる事例も起こっています。

現実に起きていることを解決し、地域の暮らしに根ざした事業者に光があたる県政を求めます。

岐阜県商工団体連合会 常任理事  
福井一徳

知事には大きな権限があり。知事候補は「私がやります」と訴えることのできる選挙です。女性候補の勇気ある決意が本当にうれしいです。

自公過半数割れになった総選挙後の最初の大きな選挙です。対決軸は、県民に冷たい県政を選ぶのか、それとも共産党も加わった主人公の会とみなさん要求の通る県政にするのかです。

日本共産党岐阜県委員会 書記長  
高木光弘

私たちは「子どもの医療費を無料に」「選択的夫婦別姓制度の実現」など、たくさんの請願を県議会に出し続けています。共産党以外のオール与党の議会ではいつも不採択になります。

これでは税金のムダづかいが止まらず、暮らしはよくなりません。自分らしく生きることのできる岐阜県に変えましょう。

新日本婦人の会岐阜県本部 会長  
稲垣豊子

女性候補を岐阜県知事にして、安心して暮らせる岐阜県をつくりましょう。

政策では「税金の使い道を検証し、県民の命と暮らしを守る県政に転換するためにたたかう」と述べています。弱者のための視点をもつすばらしい女性です。人を守るのは社会保障や公衆衛生です。医療や介護などを政治がささえなければなりません。

岐阜市 医師  
竹田智雄